

鶏足山～焼森山行報告

【山行日】2023年 3月19日(日) 晴れ
【集 合】鹿窪運動公園P AM 7:00
【費 用】マイカー2台 : 1,300円
【メンバー】CL:鈴木、SL:廣瀬、飯口、飯野、大塚、嶋田、関、福島、藤原ト、藤原フ
【コースタイム】鹿窪運動公園P7:00＝上赤沢登山口 P7:55/8:15～鶏足山南峰 9:00/9:10～鶏足山北峰 9:20/9:25～鶏石 9:35～ミツマタ群生地 10:00/10:40～焼森山 11:00/11:30～弛み峠 11:40～上赤沢登山口 P12:15/12:25＝道の駅「かさま」12:45/13:10＝鹿窪運動公園P14:20



森の妖精に会いたいという要望があり、鶏足山のミツマタを見に行く計画を立てた。鶏足山のミツマタ群生地は、地元の茂木町観光協会が整備に尽力し、年々観光客が増えている観光スポットである。観光客の増加に伴い駐車場が満車になり、沿道の渋滞が問題になり去年から車の乗り入れを禁止し、有料のシャトルバスによるアクセスとなった。その為、我々は去年から茨城県側の上赤沢登山口から登るようにして、今年も鹿窪運動公園に集合し上赤沢登山口駐車場に向かった。国道50号線を東に向かって進み、笠間市石井の交差点を左折し県道226号線を経由し上赤沢登山口駐車場に着く。

驚いたことに駐車場手前から路上駐車が続く。駐車場は満車で奥の臨時駐車場も空いてない。仕方なく我々も路上駐車し、準備を整えたら駐車場に設置されたトイレに向かう。

トイレも並んでいて順番待ち状態で、女性は待たされてかなり時間が掛かった。ストレッチを済ませたら出発し、茶畑の間の道路を西に向かって進む。まもなく分岐になり水道ポンプ増圧所の所から、右に富士ヶ平山へ向かって山道に入る。整備された階段状の登山道を登り、やがて自然林の登山道になると浅間神社が祀られた富士ヶ平山に着く。小休止して衣服調整と水分補給を行い、記念写真を撮ったら鶏足山へ向かう。

ここから一旦下り、鞍部から登り返すと鶏足山南峰に着く。山頂には2等三角点が置かれ、ベンチやテーブルもあるが鶏足山山頂はこの先の北峰になっている。



南峰からほんの少し下って、登り返すと鶏足山北峰に着く。山頂は狭いが祠が祀られており、眺望が素晴らしく大勢の登山者で賑わっていた。記念写真を撮ったらすぐに山頂を後にし、北側に延び



る稜線を下り鶏石へ向かう。稜線から右に急坂を下ると大きな岩があり、これが鶏石と案内板に書いてあるがどう見ても鶏には見えない。とりあえず記念写真を撮ったら稜線まで戻り、ミツマタ群生地に向かって稜線を進む。県境の尾根を進むと尾根が2つに分かれ、左の尾根を進むと西側に下るようになり小沢を渡ると林道に出る。林道を左に進むと直ぐにシャトルバスの発着所があり、さらに300mほど歩くとミツマタ広場に出てトイレやベンチが設置されている。トイレを

済ませたら茂木町観光協会のテントで協力金を納め、ミツマタ群生地の遊歩道に入る。ミツマタの花は丁度見頃で美しく、多くの観光客やカメラマンがスマホやカメラに取りながら歩いていた。

ここのミツマタは谷間のスギ林の中にあるため、杉木立のこもれびが差し幻想的な光景が見られる。初めて見た人たちは「ウワ～綺麗、ミツマタの花はこういうふうに咲くんだ」と満足そうに見つめていた。ミツマタの花を楽しみながら遊歩道を一周し、ミツマタ広場に戻って休憩しおやつをいただいた。ここから林道をさらに進み、焼森山雷神神社の先から右に急坂を登って焼森山に向かう。急坂を15分程登ると稜線に出て、稜線を南に5分程進むと焼森山山頂に着く。山頂からの眺望は素晴らしく、遠くは筑波連峰が見渡せる。



山頂で記念写真を撮ったらランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作りおにぎりやパンをいただく。大勢の登山者が次々と登って来て、賑やかな山頂となったがゆっくりランチを楽しんだ。ランチが済んだら山頂を後にして下山開始し、東の尾根を下り座禅岩の左を巻いて進み緩やかに下ると弛み峠に出る。ここから右に下り谷あいの道をジグザグに下り、沢沿いの植林帯の道を下ると町道中ノ沢線に出る。町道を下ると往路の登山口を過ぎ、まもなく上赤沢登山口駐車場に着く。トイレを済ませ、靴を履き替えたら車に乗り帰路につく。途中、新しくできた道の駅「かさま」に寄ったが、車が



多く駐車場が満車で止められない。皆さんを下ろして駐車場を探し、係員にお願いしバスの駐車スペースに2台止めさせてもらう。新しい道の駅は人気ようで、レストランや地元の農産物売り場は

大勢の客で賑わっていた。買い物が済んだら帰路につき、鹿窪運動公園に予定より早く帰着した。